2026 年（令和 8 年）2 月 4 日付　日本工業経済新聞掲載

情報インフラ守る団体に

賀詞交歓会で交流深める

情報通信設備協会県支部

情報通信設備協会県支部（樋川賢一支部長）の2026年度賀詞交歓会が1月29日に水戸京成ホテル「レストラン＆ｍｅ」で開かれた。支部会員、来賓などが参加し、新年を祝うとともに、交流を深めた。

樋川支部長は、冒頭のあいさつで「ここ数年、ネットワークビジネスが変化している。この支部は電話設備の集まりで電話施工、配線が中心。サイバーセキュリティーとネットワークは切っても切れない状況。将来、情報インフラ全体のセキュリティーを一元的に考えていかなければならない。協会として会員の育成を進め、これからの情報システム、情報インフラを守っていける団体としたい」と参加者へ更なる協力と支援を呼び掛けた。

賀詞交歓に先立ち行われた講演では、NTT東日本の坂下徳隆茨城支店長が同社グループの事業概要を紹介。今後の固定電話サービスについて（サービス移行など）やインフラ整備、通信インフラ群を取り巻く課題、深刻化するインフラの老朽化など同社が進める地域のDX化の取り組みを説明した。

来賓として坂下茨城支店長があいさつし「支部長がお話になったように通信業界は目まぐるしく変化している。情報の洪水に溺れないように気を付けている。引き続き皆さまと連携しながら、業界を盛り上げていきたい」とした。

続けて、NTTドコモビジネスソリューションズ栗田涼平茨城支店長は「ネットワークの中で不正アクセスを検知して遮断する取り組みを進めている。つなぐインフラあってのネットワークサービス。引き続き連携しながら社会の発展に寄与していきたい」と述べた。

同協会関東地方本部の塚本豊副本部長は最近の本部動向を話すとともに、4月に設立する『ITコンソーシアム』の参加者を募集した。「これからITビジネスに取り組む、あるいはさらに高みを目指すもの。会員がITをビジネスにつなげるコミュニティー」と説明した。

このほか来賓にはドコモビジネスソリューションズの上遠野瑞洋第5グループ第2チーム担当課長、バッファローの日下部剛関東第2営業所長、ミロク情報サービスの今裕次郎さいたま支社グループ長、同さいたま支社の鳥井良真氏、ケアコムの須釜泉光東京オフィスフィールドコーディネーターが出席。

同支部幹事を務める茨城電話工業の村上広志本社グループマネージャーの発声で乾杯し、盛大に新年を祝った。

塚本副本部長

樋川支部長

栗田支店長

坂下支店長

講演を聴く会員

村上マネージャーによる乾杯

日本工業経済新聞社　水戸支局様よりご提供いただきました